

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和6年6月21日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量が前月から大きく減少し、宇和海南部海域では健康度の指標である3%を下回った。
- ・ウイルス感染に伴う外套膜や貝殻の異常は確認されなかったが、産卵に伴うと考えられる貝肉の状態悪化が認められている。
- ・1カ月で水温が約4℃上昇し、現在も平年よりも高めに推移しており、産卵に伴う貝の体力の減少と、稚貝ではウイルス感染による病状が現れ始める時期ですので、貝の管理に注意願います。

2 調査結果一覧

() 内は昨年同月の値

漁場 ^{*1}	貝の種類 (R5産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 ^{*2}	6.0(8.6)	-1.0(-1.2)	0	0%(0)
中部①	日中交雑貝	5.2(9.1)	-0.6(-1.2)	0	0%(0)
中部②	日中交雑貝	4.6(7.6)	-0.6(-0.8)	0	0%(0)
南部	日中交雑貝	1.3(7.4)	-0.6(-0.9)	0	0%(20)
平均値		4.3(8.2)	-0.7(-1.0)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

3 調査方法

- ・5月から11月まで月1回（概ね第3週）、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめどに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝（2年貝）。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量 (%)：アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a 値：閉殻筋（貝柱）の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。

「アコヤガイ飼育管理の手引」公開中

<https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/111520.pdf>